

## 令和6年度教育課程

### 1 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

- 個性的で人間性豊かな人格をつくる
- 創造性豊かな人間を育てる
- 敬愛の精神にあふれた人間を育てる

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・各教科等で育成する資質・能力を明確にするとともに、「深い学び」を実現する授業を行うとともに、学校図書館と連携した授業づくりに取り組む。
- ・生徒の学習の実現状況を適切に把握し、常に授業改善を進め、意欲、思考力・表現力、活用する力の育成を図る。
- ・道徳、特別活動、総合的な学習の時間等を通して、人と人との関わりを大切にし、自他を思いやり、協力しあう態度や感謝の心、感動する心を育てることで豊かな人間性を育成し、生徒の自己実現を図る教育を推進する。
- ・教師と生徒、生徒相互の信頼関係の醸成に努める。また、いじめ対策委員会を通して組織的にいじめの防止および早期発見に努める。
- ・生徒一人一人の自己有用感を高め、自尊感情や他者への思いやりを育む教育活動を全校集会、授業、特別活動、生徒会活動等で推進する。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育委員会を定期的で開催し、不登校の生徒や特別な支援を必要とする生徒を学校全体で支援する体制を整備する。

### 2 指導の重点

#### (1) 各教科，特別の教科 道徳，総合的な学習の時間，特別活動

##### ア 各教科

- ・学習指導要領に定められた基礎的、基本的な知識、技能の確実な習得を図ると共にそこで得た知識・技能を活用するための応用・深化・発展的な学習をおこなう。
- ・課題解決的な学習や体験的活動など多様な学習活動の中で知識をもとにして考える力、自分の考えや発想を表現する力、コミュニケーションする力などを身につけさせる。
- ・各教科等で育成する資質・能力を明確にし、各教科の「深い学び」を実現する授業を行うとともに、教科横断的な指導の充実を図る。
- ・各教科等で、ICTを利活用して、生徒にとって充実し、わかる指導法を工夫する。
- ・司書教諭と学校図書館司書の連携を通して、学校図書館、及び図書資料を活用した授業を推進する。

##### イ 特別の教科 道徳

- ・生き方について考えを深められるように配慮し、学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、指導内容が生徒の日常生活に生かされるようにする。
- ・人権尊重の理念について指導する。また、道徳教育推進リーダーを中心に体制をつくり、計画、実践に努める。
- ・生命の尊重、人と自然との関わりを重視し、自他の生命を尊重する豊かな心を育む。
- ・社会の一員として基本的な生活習慣や規範意識を育み、集団生活の向上に努める態度を育成する。
- ・情報モラルの指導を通して、情報社会の中で自ら判断し、適切に対処できる力や態度を育成する。

### ウ 総合的な学習の時間

- ・テーマ研究で、自ら選んだテーマで体験的・問題解決的な学習に取り組むことを通して、自己学習力を育て、考え抜く力、思考力、表現力、創造性を伸ばす。
- ・体験学習、芸術発表会、テーマ研究発表会等の関連を図り、様々な教科の学習内容や成果など総合的・横断的な内容を取り入れたものをまとめたり、発表したりする機会を設け、表現力や鑑賞力を高め、生きる力を身に付けさせる。
- ・職業調べや職場訪問を通して将来の職業等に関する興味・関心を高めさせる。

### エ 特別活動

- ・学級活動、生徒会活動を充実させ、協力する心や思いやりの心を育てる。学校生活充実のための自治的な活動を促進させる。
- ・学校行事を通して、自ら考え、判断し、行動する意欲と態度を育み、集団の一員としての自覚を高める。
- ・他者との関わりを大切にし、自ら意欲を持って物事に取り組み、個性や創造性を生かすことができるようにする。

## (2) 特色ある教育活動

- ・基礎学習・総合学習・生活学習の三つの学習形態を有機的に結びつけることによって、総合的な実践力としての「問題を解決する力」と「人とかかわる力」を習得させる。
- ・運動会での1年生から3年生までの縦割りの集団での競技や応援、芸術発表会での学級毎のコンクール等、本校の伝統によって培われた諸活動を継承、発展させて実施する。

## (3) 生徒指導・進路指導

### ア 生徒指導

- ・集団の一員としての自覚を持ち、奉仕活動に積極的に取り組む態度を養う。
- ・学級経営・学年経営を基盤に、生徒の実態や環境を十分理解し、情報収集、交換及び蓄積に努め、十分な生徒理解に基づいた丁寧な指導を行う。
- ・生徒理解を深め、生徒と教師の信頼関係を基盤とした健全育成に努め、豊かな心を持ち、自他を尊重し、自ら正しく判断して行動できる態度を育成する。
- ・スクールカウンセラー及び関係諸機関との連携を通して、教育相談活動を充実させ、いじめ、不登校、集団への不適応などの早期発見、対応、防止に努める。
- ・情報社会で適切な活動を行うための基盤となる考え方と態度を育成する。
- ・安全講話や防災訓練を実施し、緊急時に主体的な行動を起こすための意欲を喚起し、知識や技能を身につけさせる。

### イ 進路指導

- ・生徒自身に自分の個性や能力を理解させ、主体的に進路選択できる能力を育む。
- ・自らの向上に努め、社会に貢献しようとする資質を育成する。
- ・職業及び上級学校について、正しく理解するための資料の収集に努めさせ、その整理・活用の指導の充実を図る。
- ・職業調べや職場訪問などの活動を通して、自分の生き方を考えさせながら、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。
- ・進路に関する情報を保護者・生徒に適切に伝え、円滑な進路選択を支援する。

### 3 学年別授業日数及び授業時数の配当

#### (1) 年間授業日数配当表

学年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	16	20	20	14	0	20	21	19	15	17	14	14	190
2	16	20	20	14	0	20	21	19	15	17	14	14	190
3	16	20	20	14	1	20	21	19	15	17	14	6	183
備考	第3学年は特別進路指導（8/30）のため1日増，卒業式(3/8)のため8日減。												

#### (2) 各教科，特別の教科 道徳，総合的な学習の時間，特別活動の年間授業時数配当表

区分 \ 学年		1	2	3
各教科	国語	140	140	105
	社会	105	105	140
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105	105	105
	技術・家庭	70	70	35
	外国語（英語）	140	140	140
	小計	895	875	875
特別の教科 道徳		35	35	35
総合的な学習の時間		50	70	70
特別活動（学級活動）		35	35	35
総計		1015	1015	1015
備考				
1単位時間は50分				